



■正面外観イメージ

## 1 整備概要

|              |  |
|--------------|--|
| ①施設の場所       | 山形県新庄市金沢字中関屋地内   |
| ②敷地面積        | 55,582㎡  |
| ③構造・規模       | [病院棟] 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(免震構造)<br>地下1階、地上6階建 延床面積25,818㎡<br>[ICUセンター棟] 鉄骨造<br>地下1階、地上2階建 延床面積 1,073㎡   |
| ④その他         | 院内保育所<br>平面駐車場 約850台<br>(うち身体障がい者等用駐車場(屋根付)20台)<br>地上ヘリポート   |
| ⑤診療科<br>(予定) | [現病院:19科]<br>内科/脳神経内科/消化器内科/循環器内科/呼吸器内科/血液内科/小児科/外科/乳腺外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/放射線科/麻酔科<br>[新設予定:8科]<br>緩和ケア内科/腫瘍内科/精神科・心療内科/歯科/救急科/リハビリテーション科/腎臓・内分泌内科/総合診療科(院内標榜) |
| ⑥病床数         | 325床(地域救命救急センター10、地域包括ケア病棟50、一般病棟265(うち感染症病床4))  |

## 2 概算事業費

|        |          |        |
|--------|----------|--------|
| 約200億円 |          |        |
| (内訳)   | 用地調査・取得費 | 約8億円   |
|        | 設計・監理費   | 約4億円   |
|        | 新病院建設工事費 | 約150億円 |
|        | 医療機器等整備費 | 約38億円  |

## 3 主な新機能

- ① 地域救命救急センター及び地上ヘリポートを整備し、最上地域の救急医療機能の向上に貢献する。
- ② 地区医師会と連携し、一次救急医療及び二次救急医療の効果的かつ効率的な運用を図る。
- ③ 総合患者サポートセンターを新設するとともに、最上保健所との連携により医療・介護・福祉に係る相談窓口を整備する。
- ④ こども医療療育センター等と連携し、障がい児のリハビリテーションを実施する。
- ⑤ 健康管理のための情報発信の場として、患者図書室を整備する。
- ⑥ 高齢の患者が多いことや悪天候時の移動等を考慮し、敷地内薬局を設置する。
- ⑦ 院内保育所を整備する。

【病院内部イメージ】



■1F総合受付



■1F外来ストリート



■1F患者図書室・カフェ



■4床室

## 4 配置計画

### ① 浸水対策

想定最大規模の水害の発生に備え、最大浸水高さよりも構内の舗装面が高くなるよう、敷地全体を平均約2m盛り土する。

### ② アクセス

- ロータリーの車寄せには、病院棟1階から繋がる大きな庇をかけ、雨や雪に濡れず車両の乗降ができる計画とする。
- 車寄せは、一般車・タクシー、福祉送迎バス、路線バスが寄付き出来るよう十分な長さを確保する。

### ③ 地上ヘリポート

- 敷地東側に1階救急部門と係する地上ヘリポートを配置する。
- ヘリコプター離着陸時に発生する吹き下ろし風による、小石等の飛散から被害を防ぐため、ヘリポート中心から半径40m以内には、建物や駐車場を配置しない。

### ④ 駐車場

来院者用、職員用合わせて駐車台数約850台を確保するとともに、身体障がい者等用駐車場を屋根付きで整備する。

### ⑤ 積雪対策

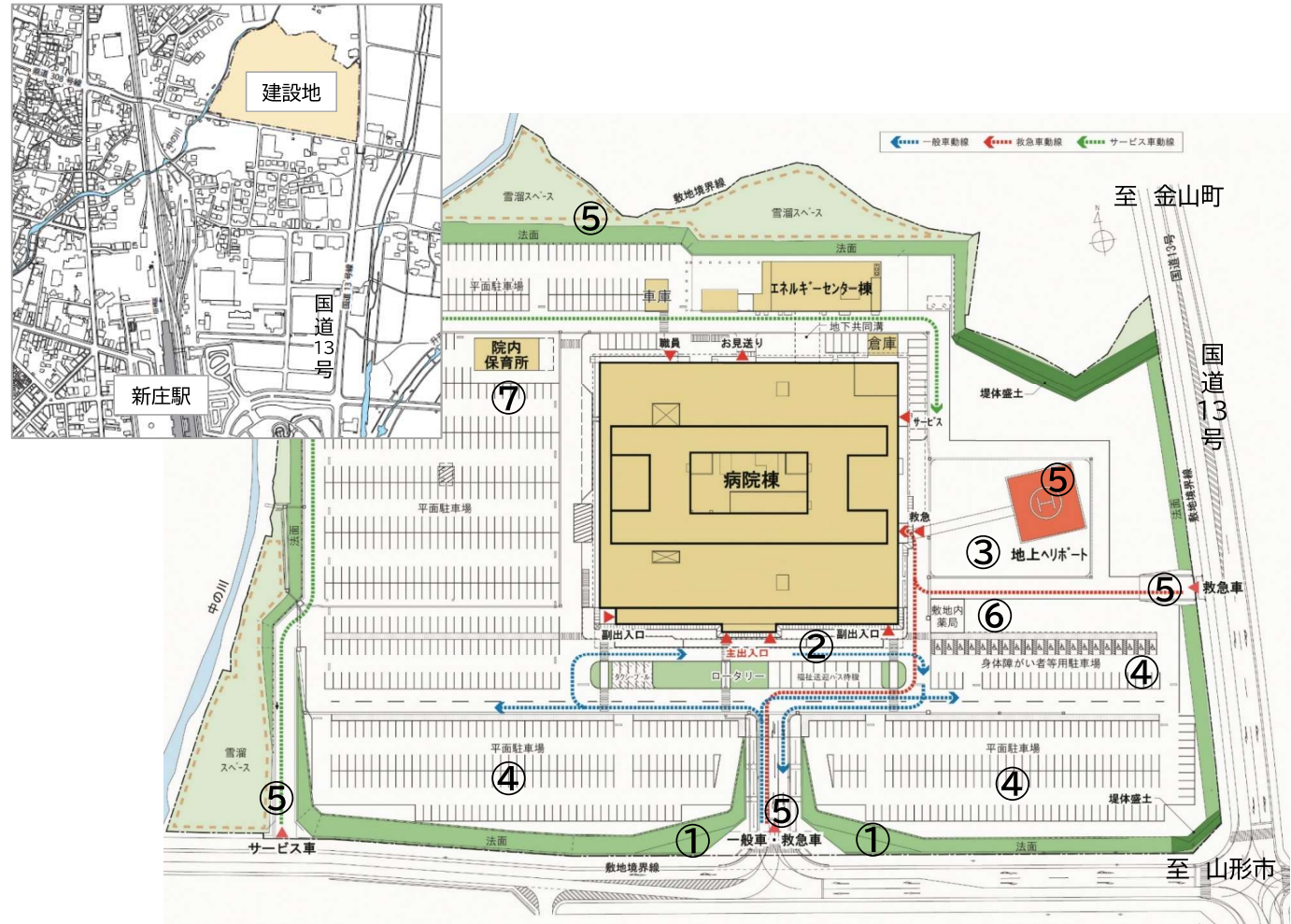
- 敷地入口の各スロープ及びヘリポートには無散水消雪設備を設置する。
- 敷地内の各所に冬季除雪のための雪溜スペースを設ける。

### ⑥ 敷地内薬局

病院東側の副出入口付近に、敷地内薬局を設置するためのスペースを確保する。

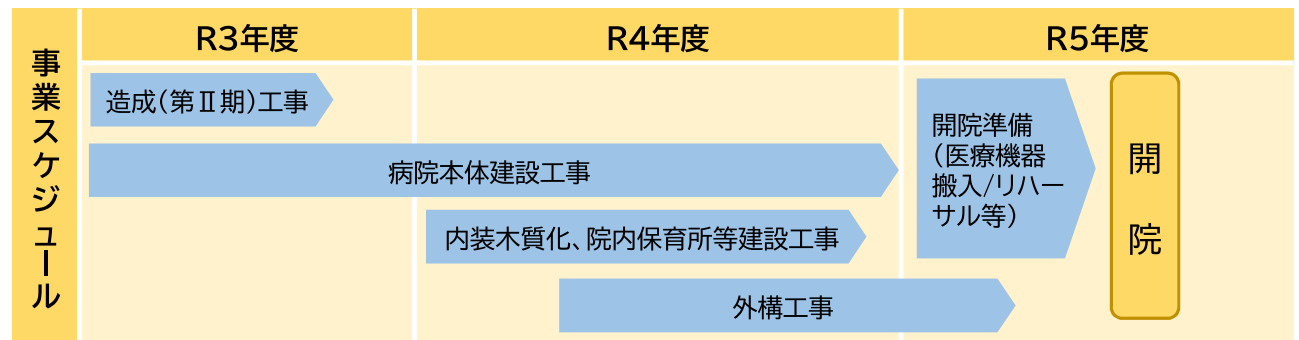
### ⑦ 院内保育所

院内保育所を、病院棟の職員出入口近くに整備する。



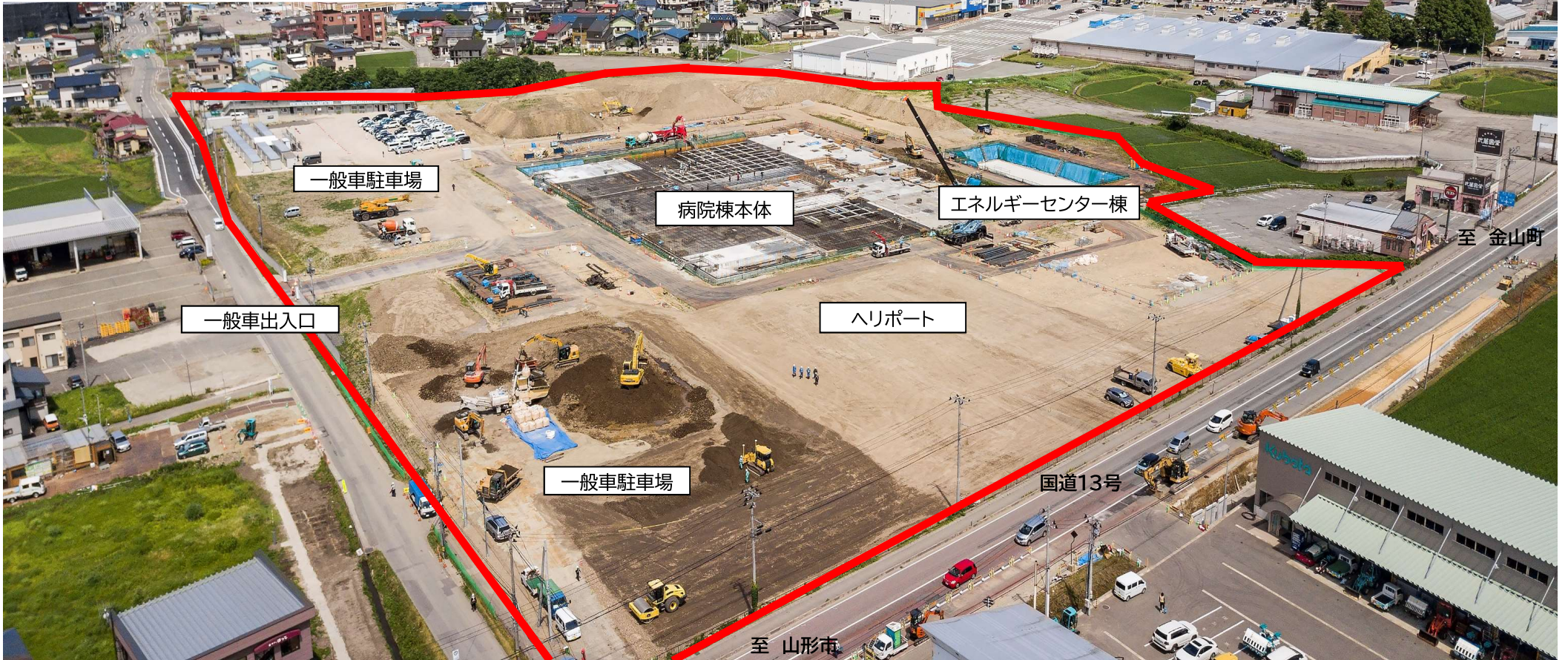
## 5 事業スケジュール

- 病院本体の建設工事(設備工事含む)は、令和2年度に着工し、令和4年度末までに完了の予定。
- 令和4年度以降、病院本体の建設工事と並行して、院内保育所等付属棟工事、外構工事等を行う。(敷地内薬局は、開設者が整備する)
- 令和5年度当初より、新設する医療機器及び備品を搬入するとともに、リハーサルを実施し、開院に備える。
- 令和5年秋の開院を目指す。



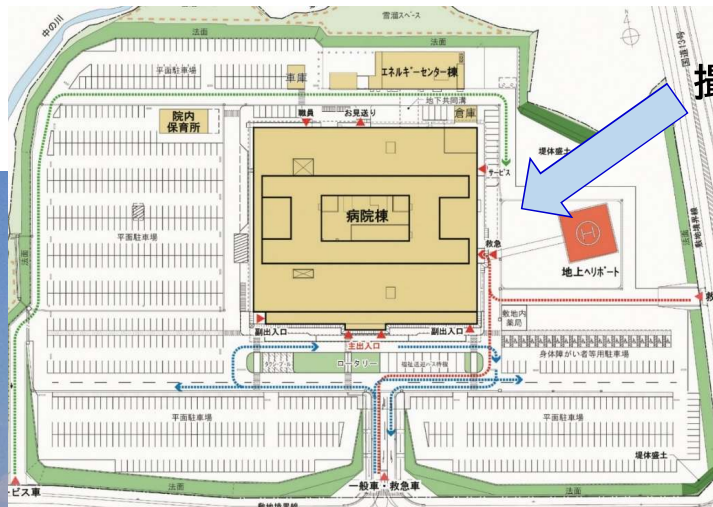


## 6 工事の進捗状況(令和3年6月30日撮影)





## 7 工事現場の状況(令和3年7月21日撮影)



鉄筋工事完了後に、コンクリートを打設し、完成した基礎部分に、免震装置を設置する予定。その後、上部躯体工事へと進み、今年11月頃には1階部分が確認できる見込み。